

麻布大学におけるカリキュラム改革、教育体制改革による実践的教育の充実化

麻布大学
獣医学科長
折戸謙介

麻布大学におけるカリキュラム改革、教育体制改革 による実践的教育の充実化

- 麻布大学の建学の精神
『学理の討究と誠実なる実践』
- 教育基盤 (システムと施設)
5系教育
実習用施設
- カリキュラム改革
教育の前倒し
アドバンス教育の充実化
- 教育体制改革
人員配置の見直し



麻布大学の建学の精神

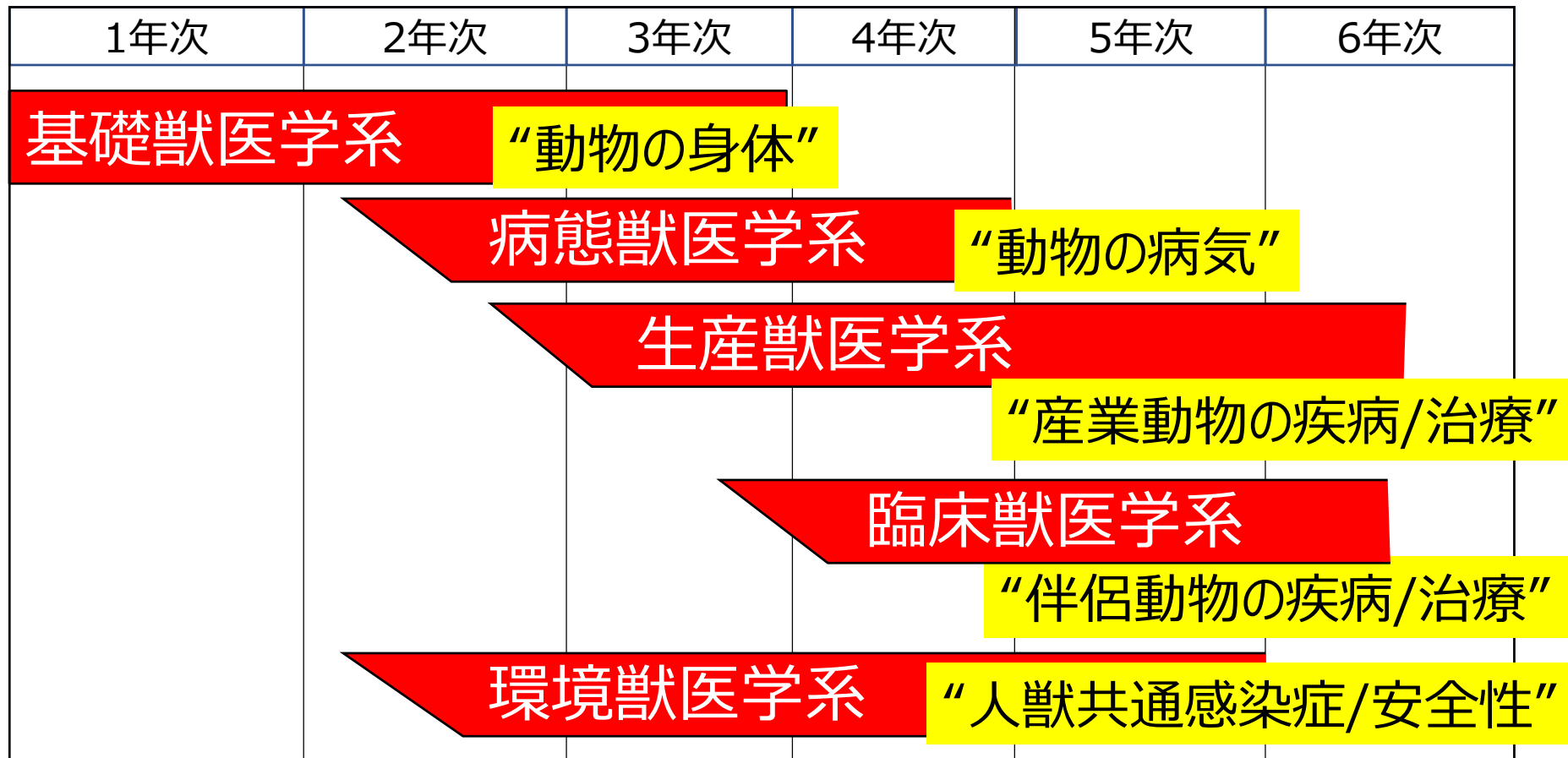
創設者：與倉東隆先生

『学理の討究と誠実なる実践』

東京獣医講習所（麻布大学の前身）では、全国から選抜推薦された獣医師に6か月間、解剖、生理、薬物、内科、外科、蹄鉄、病院実習、蹄鉄実習を実施。

人と動物との共存及び、人と自然環境との調和の途を探求すること。

麻布大学獣医学科『5つの系』教育



産業動物臨床
基礎実習

牧場実習

インターンシップ 専門学外実習

動物の健康/疾病に関する学問的/実践知識
<プロフェッショナル養成>



LAVEC
2014.7



厩舎
2020.2



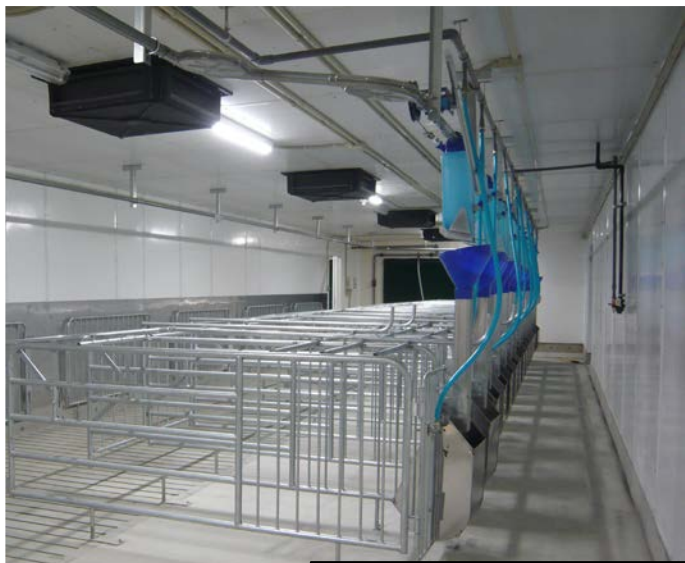
豚舎
2017.7

豚舎
2017.7竣工

飼料タンク

クールセル





妊娠豚用ストール



分娩・授乳用豚房



離乳育成豚用豚房



肥育豚用豚房

本学教育の コア対対応確認

『コアカリ科目』の取りまとめ担当教員

本学科目系区分	コアカリ科目	コアカリ担当教員	本学科目(H28.4V履修科目)
臨床獣医学系講義	4-1 内科学総論	久末	獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-2 臨床病理学	根尾	臨床病理 (2単位:4年前)
	4-3 臨床薬理学	印牧	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期)
	4-4 呼吸循環器病学	青木	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-5 消化器病学	久末	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-6 泌尿生殖器病学	高木	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-7 内分泌代謝病学	伊藤	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-8 臨床栄養学	川原井	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:5年後期)
	4-9 神経病学	齋藤	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-10 血液免疫病学	久末	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後)
	4-11 皮膚病学	川原井	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	4-12 臨床行動学	川原井	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期)、動物行動学
	4-13 外科学総論	齋藤	獣医外科学 (2単位:4年後期)
	4-14 手術学総論	藤田	獣医外科学 (2単位:4年後期)
	4-15 麻酔学	青木	獣医外科学実習 (1単位:5年前期)
	4-16 軟部組織外科学	高木	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期)
	4-17 運動器病学	藤田	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期)
	4-18 臨床腫瘍学	金井	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期)
	4-19 眼科学	高橋	小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×4単位:5年前期) 獣医内科学 (2単位:4年後期)
	1-13 放射線生物学	山田	獣医放射線学 (2単位:4年後期)
4-20 画像診断学	山田	獣医放射線学 (2単位:4年後期) 小動物獣医総合臨床 I~IVのいずれか (2×	

新コアカリに対応予定

本学教育の コアカリ対応確認

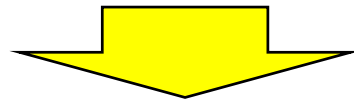
『コアカリ・細目・到達目標』と 『科目名・担当教員』の対応

コアカリ	細目	到達目標	本学科目名と担当教員
内科学総論モデル・コア・カリキュラム	(1) 説明と同意	1) 疾患の診断およびその根拠の説明に関する考え方や方法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
		2) 治療計画と予後の見通しの説明に関する考え方や方法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
		3) 診療の進め方およびその選択肢の説明に関する考え方や方法を説明できる	獣医内科学 (久末)
		4) 飼い主による診療方針の選択および同意に関する考え方や方法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
	(2) 問診	1) 診療の進め方に関する全体像を理解し、その中における問診の位置づけを説明に関する	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
		2) 個体識別、環境、食物、水に関する倫理的な問診の方法を説明に関する	獣医内科学 (久末)
		3) 予防歴、家族歴、既往歴に関する倫理的な問診の方法を説明に関する	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
		4) 現病歴に関する問診の方法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
	(3) 身体検査	1) 全身的な観察による身体検査法を説明できる	獣医内科学実習 (川原井)
		2) バイタルサイン、体重、ボディコンディションスコアの測定法を説明できる	獣医内科学実習 (川原井)
		3) 頭部、眼、口腔、鼻、耳、頸部の身体検査法を説明できる	獣医内科学実習 (川原井)
		4) 体表リンパ節、皮膚および皮下、胸部、腹部の身体検査法を説明できる	獣医内科学実習 (川原井)
		5) 外部生殖器、筋肉・骨・関節、神経系の身体検査法を説明できる	獣医内科学実習 (川原井)
	(4) 診療記録	1) 個体識別、問診から得られた情報、身体検査所見に関する記載法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
		2) 診断計画と診断、治療計画、治療、経過、診療評価に関する記載法を説明できる	獣医内科学 (久末)、小動物臨床実習 (久末・伊藤)
(5) 臨床検査	1) 血液検査の概要とその意義を説明できる	獣医内科学 (久末)、獣医臨床病理 (久末)	
	2) 尿検査、糞便検査、体腔液検査の概要とその意義を説明できる	獣医内科学 (久末)	
	3) 生検および微生物検査の概要とその意義を説明できる	獣医内科学 (久末)	
臨床病理学モデル・コア・カリキュラム	(1) 検体の採取と処理ならびに検査値の解釈	1) 臨床検査に用いる機器・器具の名称、用途、検体の採取法を説明し、検査結果を解釈できる	獣医臨床病理 (根尾)
	(2) 血液の検査	1) 赤血球系検査の目的、適応ならびに異常所見 (貧血または多血症) とその成因を説明できる	獣医臨床病理 (根尾)
		2) 白血球数や白血球分類の異常から、感染症、炎症、白血病などを診断し、その成因を説明できる	獣医臨床病理 (久末)
		3) 血小板や血液凝固系・線溶系の異常から、出血性疾患や血栓症疾患を診断し、その成因を説明できる	小動物獣医総合臨床 (久末・根尾)
		4) 血漿・血清タンパク質の検査法の目的、適応を説明しその異常から病態と成因を説明できる	獣医臨床病理 (久末)
	(3) 免疫学的検査	1) 免疫学的検査の目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる	獣医臨床病理 (久末) 小動物獣医総合臨床 (久末・根尾)
	(4) 電解質・酸塩基平衡、血液ガスの検査	1) 電解質・酸塩基平衡、血液ガスの異常所見を説明し、検査結果と成因を解釈できる	獣医臨床病理 (根尾)
	(5) 尿・腎・泌尿器系の検査	1) 尿検査の目的、適応と異常所見を説明し、病態を評価できる	獣医臨床病理 (根尾)
		2) 腎機能異常と尿路系疾患の検査法の目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる	獣医臨床病理 (根尾)、小動物獣医総合臨床 (渡邊)
	(6) 消化管、膵臓、肝・胆道系の検査	1) 消化管および膵臓の外分泌機能検査法の目的、適応と異常所見を説明し、結果を解釈できる	獣医臨床病理 (印牧)、小動物獣医総合臨床 (久末)
2) 肝・胆道系疾患の検査法の目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる		獣医臨床病理 (印牧)、小動物獣医総合臨床 (久末)	
(7) 内分泌疾患・代謝病の検査	1) 内分泌疾患と代謝性疾患の検査法の目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる	獣医臨床病理 (根尾)	
(8) 運動器・骨疾患の検査	1) 筋肉と骨の疾患の検査法について、目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる	小動物獣医総合臨床 (藤田)	
(9) 体液・貯留液、皮膚等試料の検査	1) 体液・貯留液成分、皮膚や耳の検査法の目的、適応と異常所見を説明し、検査結果を解釈できる	獣医臨床病理 (根尾・川原井)	
(10) 細胞診	1) 細胞診の目的と意義、その適応を理解し、炎症、腫瘍など細胞・組織の異常とその成因を説明できる		

新コアカリに対応予定

麻布大学獣医学科『5つの系』教育

- 基礎から応用、臨床科目まで有機的なつながり
- 効率的
- 専門科目受講前の基礎教育の充実



- 共用試験
- 参加型臨床実習
の実施時期

- 基礎から応用、臨床科目まで有機的なつながり
 - 効率的
 - 専門科目受講前の基礎教育の充実
 - 共用試験への対応 → 臨床教育の充実化
- “教育の前倒し”

科目履修学年次変更

	変更前	変更後
獣医解剖学I	1年次前期	(変更なし)
獣医解剖学II	1年次後期	(変更なし)
獣医解剖学実習	1年次通年	(変更なし)
獣医組織学実習	1年次後期	(変更なし)
獣医生理学I	2年次前期	1年次後期
獣医生理学II	2年次後期	2年次前期
獣医生理学実習I	3年次前期	2年次後期
獣医生理学実習II	3年次後期	3年次前期
獣医生化学I	2年次後期	1年次後期
獣医生化学II	3年次前期	2年次前期
獣医生化学実習	3年次前期	2年次後期
獣医微生物学実習I	3年次後期	3年次通年
獣医微生物学実習II	3年次後期	

科目履修学年次変更

	変更前	変更後
獣医薬理学総論	3年次後期	3年次前期
獣医薬理学各論	4年次後期	4年次前期
獣医薬理学実習	4年次前期	3年次後期
毒性学	4年次後期	3年次後期
毒性学実習	4年次後期	4年次前期
公衆衛生学I	4年次前期	3年次後期
公衆衛生学II	4年次後期	4年次前期
公衆衛生学III	5年次前期	4年次後期
家畜衛生学I	4年次前期	(変更なし)
家畜衛生学II	4年次後期	4年次前期
獣医放射線学	4年次後期	2年次後期

基礎教育系 (基礎生物学、生物学、生態学、化学、数学など)

: 1年次前-後期 (不変)

重複調査 (教員)

旧カリ最終年(V17番台)	1	2	3	4	5	6	
新カリ初年入学生(V18番台)		1	2	3	4	5	6

学科	移動対象科目	科目名	科目担当者	旧配当学年	新配当学年	学年変更	H29		H30		H31		H32		H33		H34		H35	
							前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期	前期	後期
		獣医解剖学I	市原・大石	1	1	なし	月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4	
		獣医解剖学II	市原	1	1	なし		木1・2		木1・2		木1・2		木1・2		木1・2		木1・2		木1・2
		獣医組織学	市原・坂上・	1	1	なし		月1・2		月1・2		月1・2		月1・2		月1・2		月1・2		月1・2
		獣医解剖学実習	市原・大石	2	2	なし	木全日	金全日	木全日	金全日	木全日	金全日	木全日	金全日	木全日	金全日	木全日	金全日	木全日	金全日
V	○	獣医生理学I	折戸	2	1	あり	金3・4		金3・4	火5・6		火5・6		火5・6		火5・6		火5・6		火5・6
	○	獣医生理学実習II	折戸・井上	3	3	なし		木金午後		木金午後		木金午後	火水午後		火水午後		火水午後		火水午後	
V	○	獣医生理学II	西田	2	2	なし		木5・6		木5・6	月1・2		月1・2		月1・2		月1・2		月1・2	
	○	獣医生理学実習I	西田・松井	3	2	あり	火水午後		火水午後		火水午後	水木午後		水木午後		水木午後		水木午後		水木午後
A		動物生理学I	西田・折戸	1	1	確認		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4		月3・4
		動物生理学II	松井	2	2	なし	水3		水3		水3		水3		水3		水3		水3	
		動物生理学実習	折戸・西田・井上・松井	2	2	確認		水午後		水午後		月午前		月午前		月午前	水3	月午前		月午前
V	○	獣医生化学I	山下	2	1	あり		月3・4		月3・4		金5・6		金5・6		金5・6		金5・6		金5・6
	○	獣医生化学II	山下	3	2	あり	金3・4		金3・4		金3・4		火1・2		火1・2		火1・2		火1・2	
	○	獣医遺伝学	山下	2	2	なし		木7		木7		水1		水1		水1		水1		水1
	○	獣医生化学実習	山下・永根	3	2	あり	木金午後		木金午後		木金午後	水木午後		水木午後		水木午後		水木午後		水木午後

重複調査 (実習室)

●H26入学生適用カリ4V 実験動物学実習開講 ●家畜伝染病学実習開講なし ●環境毒性学実習(5V集中)開講最終年度 ●毒性学実習 (V4新設)開講

実習移行完了
要移動

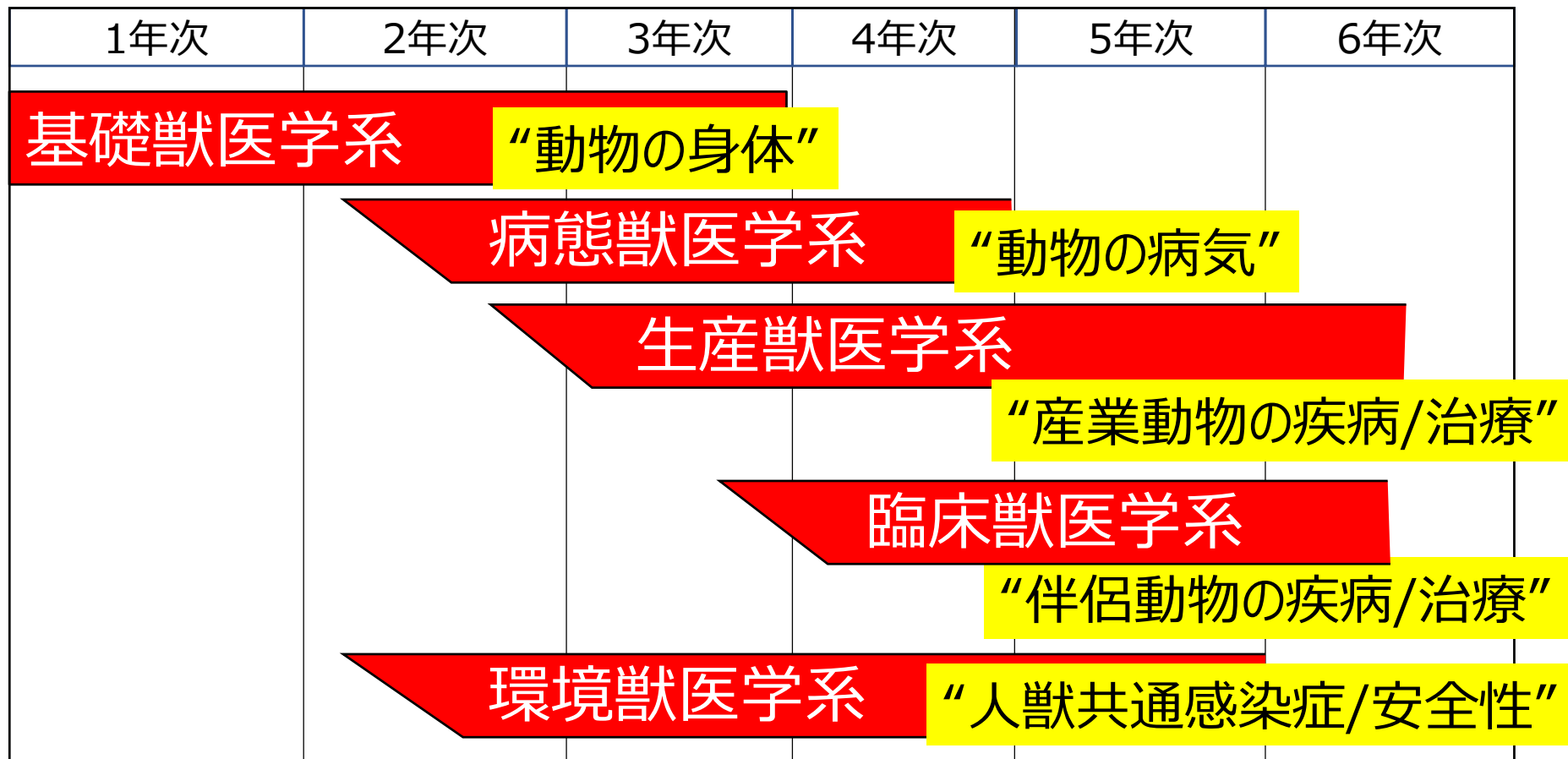
月 火 水 木 金

午前 午後 午前 午後 夕方18:00～ 午前 午後 午前 午後 午前 午後

獣医学部棟

実習室1	前期	△A4 家畜人工授精			△A3集中			△A3集中		△A3集中		
	後期				△A3集中			△A3集中		△A3集中		△A3集中
実習室2	前期						△A4集中 動物衛生					
	後期			V4毒性	V4毒性			V4家畜衛生				V4家畜衛生
実習室3	前期				V3 寄生虫			V3 寄生虫				
	後期				V3 微生物			V3 微生物		V3 微生物		V3 微生物
実習室4	前期				V4 公衆衛生					V4 公衆衛生		V4 公衆衛生
	後期							V4 公衆衛生				V4 公衆衛生
実習室5	前期						△V1 生物学	△V1 生物学	V2 解剖	V2 解剖		
	後期				A2動物生化		A2動物生化	A2 動物生理		V4 実験動物	V2 実験動物 / V2 解剖	V2 実験動物 / V2 解剖
実習室6	前期				V3 生理I			V3 生理II				
	後期				A2動物生化		A2動物生化	A2 生理		V3 生理II		V3 生理II
実習室7	前期				△A4動物栄養					V3 生化		V3 生化
	後期					A1(教)地学実験	△V1化学実験	A1化学実験		A1化学実験		
実習室8	前期									V4 獣医薬理		V4 獣医薬理
	後期	V5 小動物臨床実習・産業動物臨床実習・環境毒性学実習・専門学外実習										

麻布大学獣医学科『5つの系』教育



産業動物臨床
基礎実習

牧場実習

インターンシップ 専門学外実習

← ●
共用試験

実践教育の充実化

産業動物アドバンス実習（6年次前期）

■ 教育目標（ねらい）

直接的に牛や馬の診療を体験することで、牛や馬を対象とした臨床学的知識および技術を学び、基本的な診療方法を説明できる。

■ 到達目標

- ・最先端の産業動物獣医療の考えに基づき、適切な診断を下し、最適な治療の選択を行い、その一部を実施することが出来る。
- ・生産獣医療が食料生産だけではなく、人の心と身体の健康に及ぼす影響を理解し、その重要性を説明できる。

LAVEC

厩舎/馬場

厩舎
2020.2竣工





実践教育の充実化

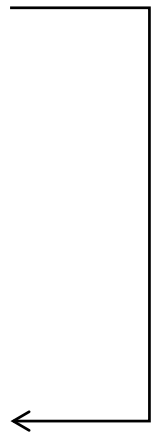
小動物病院実習（6年次前期）の多角化



獣医師免許取得後の臨床研修
施設（大臣指定）との連携

人員配置の見直し

各系の教員数
(欠員含)

- 基礎獣医学系 (12名)
 - 病態獣医学系 (13名)
 - 臨床獣医学系 (15名)
 - 生産獣医学系 (14名)
 - 環境獣医学系 (6名)
- 

人員配置の見直し

各系の教員数
(欠員含)

- 基礎獣医学系 (12 → 10名)
- 病態獣医学系 (13名)
- 臨床獣医学系 (15 → 17名)
- 生産獣医学系 (14名)
- 環境獣医学系 (6名)

麻布大学におけるカリキュラム改革、教育体制改革 による実践的教育の充実化

- 麻布大学の建学の精神
『学理の討究と誠実なる実践』
- 教育基盤 (システムと施設)
5系教育
実習用施設
- カリキュラム改革
教育の前倒し
アドバンス教育の充実化
- 教育体制改革
人員配置の見直し